

の、どうんニゲームもありません。長
 年で、その時の姿とい、長今思ひ出し
 ても、赤面する思いです。で、試
 合の時は自分自身を小なりに一生懸命やっ
 たりもります。

ちやうどお違が活躍している頃からル
 ル面、女子の場合はスリフイルドを使
 用せず、室内と同じ大きさのコートに一定
 し、ジャンプシユートが新しく試み始め
 られました。さつそく練習したものを私達
 のまがいホーメーシヨンでは得兵に能わつ
 かつ、先輩の方々をやさもささせたもので
 した。

これといつて何も功績のなかつた三、四年
 前のクラブを通じての自分を思い出しつ
 べんを走らせていると、余りにも早く経つ
 てしまつた。歳月、そして勝利の本当の喜び
 を充分に味わえなかつたという腹を吐きま
 して、何か胸にせまるものを感じられずには
 ありません。

トスポーツは参加する事があり勝つ事では
 ないと言われ、いまが、参加するか
 らには良いチームワークで勝利の矛向へも
 っで行くことによつて互の心にファイ
 がわき、喜びをわかち合えるのではな
 しょうか。でも在学中のほんの少しのク
 ラブ活動で、喜びました。ハンドボールを

通じて、自分自身の中に如何なる人とも、
 キーワードを築く自信が、つきまじりな
 りとスポート精神といわれるべきものを、あ
 るいは、厳しさの中に人の心のあたりのか
 というものを身につけて、新たな学業生活の
 中で誇りを研ぎ、あらゆる人々に接する
 事が出来、そして今では先輩として、時々
 は一語になつて練習出来る事を喜んでいます。
 ます。

今後とも、現役、OB、OG、次々に親睦を
 計り発展することを期待してやみません。
 終り

